



それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

令和2年6月12日
足利市立第三中学校
生徒数：199名
発行者：高木秀和



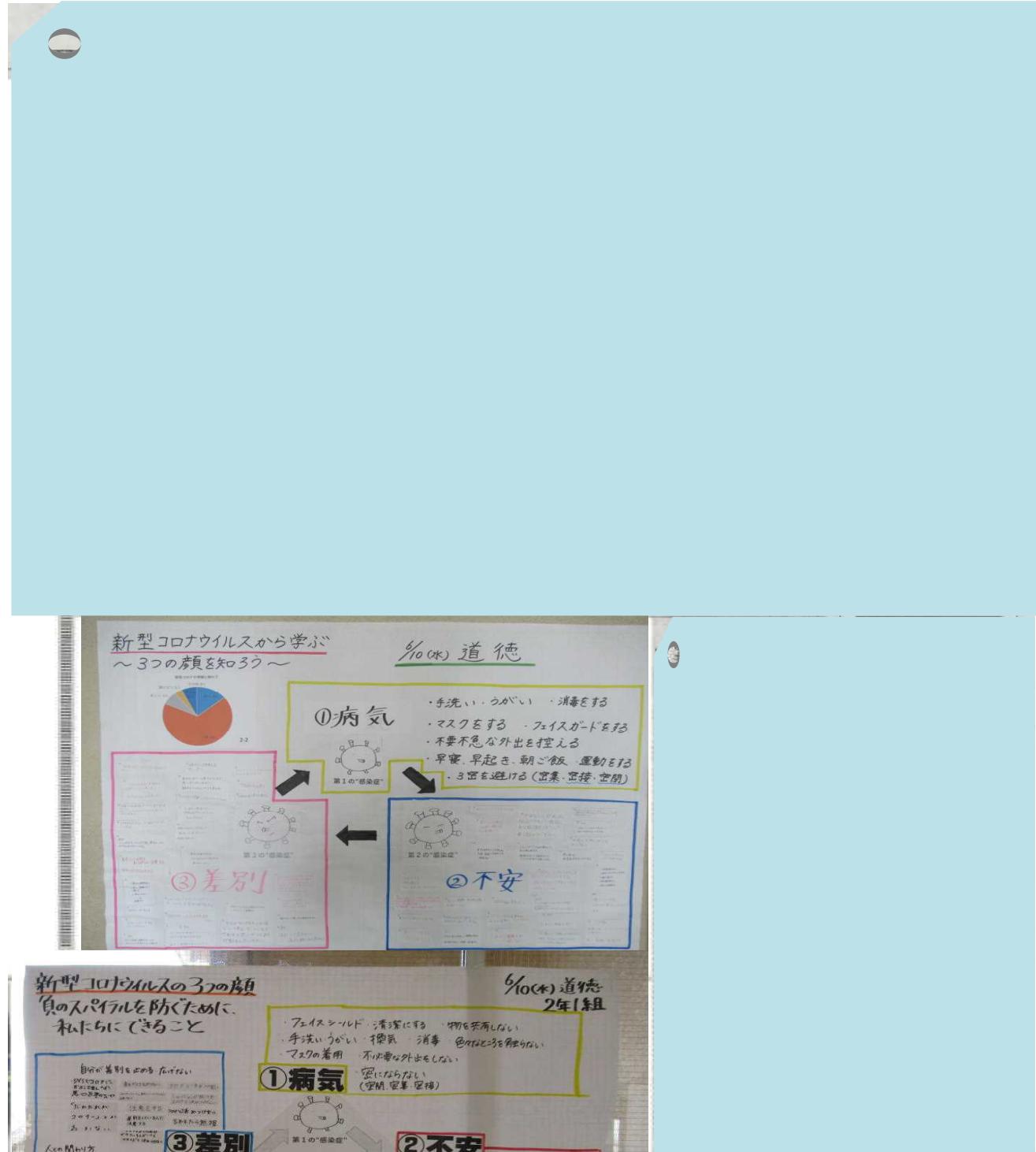
新型コロナウイルス3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

第三中学校では、毎週水曜日の第5校時が、全クラス道徳の授業です。6月10日（水）は、「新型コロナウイルス3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」という題材で1年生から3年生までの全クラスが同じ内容の授業を展開しました。これは、担任の先生一人一人の思いが、授業実施のきっかけでした。学校再開の準備をする中、感染拡大防止としての、手洗い、マスク、消毒、その他諸々、何か抜けていることはないか、先生方皆で日々考えていました。そこで、一番大切なものは、皆さん心のケアと、これからまだまだ続くコロナ対策の日々の中で、先生方も皆さんも、それぞれがコロナへの不安から間違った見識を持たないように、数多い情報に惑わされないように正しい知識、適切な判断ができるよう支援することだと気づきました。

皆さんの、コロナウイルスへの思いをアンケートにより把握した上で、それぞれの担任の先生が各クラスの実態に合わせた授業を考えました。3年生では、動画を利用したり、1、2年生は難しい表現を避け、担任の先生が画像を説明したりと、考えて欲しいことは同じでも、その投げかけ方は、目の前の皆さん一人一人を思いながら考えて授業の準備をしていました。担任の先生方が集まって、夜遅くまで、授業について話し合うこともしばしばありました。学校では、研究授業というのがあります。教育委員会の指定を受けてたり、自主的に学校として実践したり、いくつかの種類があります。皆さんも、たくさんのお客様が授業を見に来て、先生が、緊張した様子で授業している姿を見たことがあるでしょう。しかし、今回の授業は、研究授業ではありません。研究授業は、皆さんに「わかる授業」を提供したり、教師の指導力を高めるたりすることがねらいです。今回の道徳の授業は、ただ純粋に、先生方の「思い」が原動力になっています。当日、6月1日の再開当日のテレビ報道がきっかけで、市役所広報課、新聞社、テレビ局の報道は入りましたが、皆さんを受けた授業は特別なものではなく、日常の一コマの中で担任の先生が皆さんに投げかけた問いです。だからこそ、熱い思いで授業を展開してくれた先生方、そして、その授業に真剣に取り組み、よく考え方メイトと意見を交わし合ってくれた皆さんを、大変誇りに思います。どうもありがとうございました。以下、保護者の皆さんに、当日の様子を、写真と下野新聞の記事で紹介させていただきます。





3つの“感染症”は どうつながっているの？

第2の“感染症”に ふりまわされないために

12

この「感染症」の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることです。

不安や恐れは身を守る為に必要な感情ですが、私たちから力を奪い冷静な対応ができなくなることがあります。

自分を支える力

